

（端裏書）

「大谷藤之丞殿 熊沢六郎兵衛」

口上

申入候、弥御息災珍重

存候、然_者先達_而御頼申候

御講之儀明十五日於

町会所_ニ致し候間

八ツ時午御苦勞御出

席可被申候、右御案内迄

如此御座候、以上

二月十四日

尚々御多用可有御座候

得とも呉々も御操合

御入来待入申候、以上